

おんじゅく

# 広報

第 15 号

発 行 所

千葉県夷隅郡御宿町役場

発行者 井 上 文 吉

編集者 東 栄 藏

印 刷 所

株式会社 阿 佐 商 会

千葉市 市場町 14

電話千葉(2)4467-3936



広報は綴つてよみましょう

○

ひかるところは  
水たまり

春の雨ふる  
夜の路

濡れた砂山  
さくく上る

青い電灯の  
つくところ

沖の漁灯

チカ／＼見えて

遠い想いも  
濡れて居た

総額 4千112万9千円

## 重点は土木事業と住宅建設

## 35年度予算きまる



〔写真 II 予算審議中の議会〕

昭和三十五年度御宿町予算をさ  
める町議会は三月十二日に開かれ  
慎重審議のち、満場一致原案通  
り可決されました。

当町も既に合併以来本月末日をもつて、満五ヶ年を経過しようとしております。この間當時策定されました新町建設五ヶ年計画の遂行について凡ゆる困難を克服して、概ねこの計画を達成し、幾分なりとも町民への「サービス」向上に役立つたものと信じ、ここに深甚なる謝意を表する次第で御座います。

今後財源見透しの確立次第追加を予定されるものとして御宿、岩和田両漁港の修築、局改事業と長い間の懸案であります、有線放送施設等が挙げられますので、予算編成に当りましては、才入におきまして交付税のみを追加財源とし、他の補助金、税収入等は確実に計上し、更に町民税については適正課税の研究

の増となつております。国県補助金、町債については、補助事業の施行認可等の関係で本予算には計上出来ないものがありますので、相当額減となつております。地方交付税その他の収入については、ほぼ前年度と同程度を計上しております。才入総額は四千百十二万九千円で前年度に比し、三百八十六万六千円

才出

才出については各款別に申し上げます。

出に於ては、義務的経費中人件費は止むを得ませんが、他の消費的経費は極力節減したつもりであります。

至りまして、私共当局者としては、議決された予算の執行には万全を期することは当然であります。が、依存財源の多い予算であり、各位の御支援と御協力を切望するものであります。

役場費は、職員の昇給分を見込みましたので四十万七千円の増となつております。尚昨年度までは役場費に計上いたしておりました、区長等の委員報酬は本年度からは諸支出金に計上いたしました。

才入

ますが、一方公債費が年々増加し、本年度に於ては総額の八・九%の高率を示すに至りましたことは、新町建設五ヶ年計画遂行のための起債の累計が表われた結果でありまして、現行地方財政制度下に於ける町財政收入よりして止むを得ないことと存じます。

町税收入については現行地方税法の規定に基いて計上し、財産収入に於ては、町有土地の売却代を百二十万円見込みました関係で前年度より八十五万八千円

消防費は、総額に於て四十四万八千円の減となつておりますが、これは昨年度に於ては、消防ポンプ購入費等臨時の経費の支出があつた関係でありますて、団員報酬、貯水池設置費等それぞ

れ増額となつております。

土木費は、道路橋梁の維持修繕費が、その主たるものであります。して前年度とほぼ同額でござい

教育費は、総額に於て六百十九万八千円の減となつておりますが、これは昨年度に於ては岩田小学校の改築費七百二十六万三千円が計上されていた関係であります。

各学校についての経費はそれぞれ増額されており

社会及労働施設費は、保母の給与の昇給分を見込みましたので

昨年度より四十九万八千円の増額については昨年同様、簡易耐火構造のブロック建二十戸を計画いたしました。

保健衛生費は、昨年とほぼ同額を計上いたしましたが、委員報酬を少額ではあるが増額しております。

産業経済費は、委員報酬を少額ではあるが増額しており、他は前年度とほぼ同額を計上しています。今後御宿、岩和田両漁港修築、局改事業と有線放送施設事業が予定されますが、これは追加予算に計上することになりました。

財産費は、町有建物の火災保険料と修繕費が主たるものであります。まして前年度とほぼ同額であります。

統計調査費は、調査員報酬を少額ではあるが増額してあり、他は、前年とほぼ同額を計上いたしました。尚本年度は国勢調査が行われますが、これは追加予算に計上することにいたしました。

選挙費は、予定された選挙もないので経常費のみを計上いたしました。

公債費は、長期起債の元利償還金が主たるもので、他に一時借入金利子を十二万円見込みました。が、これは極力抑制し幾分なりとも経費の節減を計りたいと思ひます。

諸支出金は、徴税費と委員報酬町営バス購入費、及び各種負担金がその主たるものであり、前年度に比し九十八万八千円の増額を計上しています。

であります。

#### ◇燃料によつて ちがう燃料費

米一・四キロ(一升)をたく燃料費は、燃料によつて、次のような差があるので、燃料の使い方のじょうず、へたが家計のやりくりに及ぼす影響も少なくない。

石炭で二円、石油二円五十銭、煉炭二円八十銭、まき三円、ガス三円三十銭、プロパンガス四円八十銭、電気金四円八十銭、木炭五円六十銭、電気七円三十銭を要する。

十円で得られるこれらの燃料のカロリーは、石炭が六、〇〇〇カロリー、まき五、三〇〇、煉炭二、一〇〇、プロパンガス一、二〇〇、電気八〇〇で、石炭が一番安く、電気がいちばん高いこととなる。

#### ◇たいせつな幼児期

三の子の魂といわれるよう人の性格は、そのもとが幼児期につくられる。人間の脳髄は九才までに九〇パーセント發育するといわれる。従つてこの時期の育てかたや栄養がたいせつである。

財政事情の公表

町の財政については、毎年二月と八月現在で公表することになつております。これは町の財政事情を皆さんによく理解していただきためであります。

一、昭和三十四年度予算執行状

- 二、町民負担の状況
- 三、町財産及び町債並びに一時借入金の現在高
- 四、昭和三十四年度計画事業の執行状況

についてお知らせします。

第一章 昭和三十四年度予算の執行状況

才入(第一表)

才入について申しますと、町税は調定額に対し収入済額の割合は七四%であり、予算額に対しは七九%であつて、余りよくないが納税組合分の未整理等もあるので年度末迄には八五乃至九〇%の收入歩合となる見込である。地方交付税は予算額どおり收入済となつてゐるが、その他の才入科目も、年度末或は出納閉鎖期日(五月三十一日)まではそれぞれ予算額に達する欠陥はないものと思う。

第二章 町民負担の状況(第三表)

町民の皆さんが町財政に対してどのように負担されておられるか、その概要を説明いたします。二月末現在に於て、本年度課税総額は滞納額越分を除き、町民の皆さんは直接には関係のない、固定資産税中の交付金納

第1表 年度別歳入(昭和35.2.29現在)

科 目	区 分	現計予算額	調 定 額	收 入 済 額	收 入 未 済 額	予算額に対する取入割合%
1. 町 税	税	16,028,350	16,962,664	12,622,052	4,340,612	79%
2. 地 方 交 付 税	税	12,762,000	12,762,000	12,762,000	0	100%
3. 公 企 業 及 財 産 収 入		2,311,000	2,193,755	1,892,542	301,213	82%
4. 分 担 金 及 負 担 金		6,113,550	5,492,674	5,492,674	0	90%
5. 使 用 料 及 手 数 料		1,530,000	1,440,035	1,378,135	61,900	90%
6. 国 庫 支 出 金		10,718,700	7,319,835	7,319,835	0	68%
7. 県 支 出 金		6,940,500	4,100,468	4,100,468	0	59%
8. 寄 繰 越 収		690,000	319,871	319,871	0	46%
9. 雜 収		3,153,000	3,153,455	3,153,455	0	100%
10. 町	計	340,000	266,506	266,506	0	78%
11. 合		7,800,000	7,800,000	7,800,000	0	100%
				一時借入金を含む 7,800,000		
		68,387,100	61,811,263	57,107,538	4,703,725	84%

第三章 財産及び町債並びに一時借入金の現在高

一、町有財産について  
二月末日現在における町有財産は別表(第四表)に示すとおりであります。

二、町債の現在高について  
本年度末における起債現在高は別表(第五表)に示すように、財政規模に比して、相当多額になつてゐるが、これは合併以来の町建設計画遂行の公共事業に充當した財源であり、それぞれ町民の福祉向上に役立つてゐることと思われる。然しながら今後この元利償還額が町財政を逼迫することは当然考慮しなければならないし、今後における起債については極力抑制しなければならない。

三、一時借入金について  
二月末現在の一時借入金は七百八十万円で、この内訳は、岩小建設債の起債前借四百万円と町税課税総額について、年度別計四百四十六万八千円が含まれておるのであります。

町税課税総額について、年度別に比較すれば別表のとおりでありますが、県下平均の人口一人万円及び恩給組合からの借入金

当り額一千五百二十八円(昭和三十三年度)に比し、本町に於ける住民負担額は相当軽いと言ふことがいえよう。

**第四章 昭和三十四年  
度計画事業の執行状況**

一、補助事業について  
本年度において計画された補助事業は、別表に示す八事業であるが、御宿漁港修築事業は、天

二百万円であり、起債前借については五月末日までには長期借に切替の手続を完了する予定があり、一時借入金についても年度末までには返済の予定である。

二、災害復旧事業について  
本年度計画されている災害復旧事業は、別表に示す三事業である。岩和田漁港災害関連事業は、他の二事業は、施行認可が得られたが、御宿漁港修築事業は、天

**第2表 歳出 (昭和35.2.29現在)**

科 目	区 分	現計予算額	支出済額	予算残額	予算額に対する割合
1. 議会費	1,227,000	963,112	263,888	78%	
2. 役場費	10,389,400	9,279,217	1,110,183	89%	
3. 消防費	2,874,000	2,294,892	579,108	80%	
4. 土木費	4,502,637	1,202,666	3,299,971	27%	
5. 教育費	13,033,800	9,047,538	3,986,262	69%	
6. 社会及労働施設費	10,997,625	7,822,516	3,175,109	71%	
7. 保健衛生費	675,000	564,316	110,684	84%	
8. 産業経営費	17,948,400	12,486,642	5,461,758	70%	
9. 財産調査費	173,000	67,773	105,227	61%	
10. 統計調査費	226,300	197,111	29,189	87%	
11. 選公費	388,000	219,212	168,788	56%	
12. 諸支出費	3,028,000	1,878,248	1,149,752	62%	
13. 予備費	2,787,000	2,039,886	477,114	73%	
合 計	68,387,100	48,333,129	20,053,971	71%	

め、年度内完成は至難であるため、来年度へ繰越すことになる。

**三、単独事業について**

本年度計画された単独事業は別表に示す三事業である。防火貯水池及び消防団本部詰所はすでに完成しており、地曳橋は、起債許可等の関係で着工が少し遅れたが、年度末までには完成する見透しがある。

**蚊やハエを駆除するによる季節**

春になると、蚊やハエはすでに勢いで繁殖し、活動を再開する。

健康で文化的な生活環境をつくりあげるために、蚊とハエの駆除を徹底しなければならない。

蚊を駆除するには、(1)水たまりは全部土砂で埋める。(2)防火用水槽などには、魚を飼つたり時々水をかえる。(3)下水はたえりは全部土砂で埋める。(2)防火用水槽などには、魚を飼つたり時々水をかえる。(3)下水はたえ

ず清掃して流れをよくする。(4)空かん、空びんなどに雨水がたまらないようにする。

ハエを駆除するには、(1)ゴミはやたらに捨てないで、ふたの容器にいれる。(2)便所の汲み取りは完全なフタをし、便器にもフタをし、窓には網を張る。

(3)空地や川にゴミを立てない。

(4)肥料だめ、畜舎などには網戸をはるか、残留噴霧をする。

**あなたも“ゆう・もあくらぶ”へ**

ゆうは英語の YOUNG、もあは

フランス語の MOISSON、健全なユーモアと明朗な笑いを取り入

れ、あなたとわたしの郷土を愛し、世の中を明るくしようとするのが、このくらぶのネライです。

本部（東京）は徳川夢声氏を会長にいま全国でざつと二万人の会員がいます。

わが御宿町にも、今度支部が誕生しましたから、どなたでも一

人でも多く入会されることを望みます。

会費は一ヶ月百円です。  
ゆうもあくらぶは次のような事業を行います。

1、会員相互の親睦とユーモア精神の向上などのための談話

申込所 岩和田 岩井敏夫  
六軒町 柳 健吉  
新町 岩瀬 勇  
井上七郎 峰島平八

高山田 岩和田 岩井敏夫  
六軒町 柳 健吉  
新町 岩瀬 勇  
井上七郎 峰島平八

**第3表 町民負担の状況**

区分	町税総額	一世帯当たり負担額	一人当たり負担額	備考
昭和30年度	13,618,000	6,735	1,396	町税総額は現年度分を計上する
昭和31年度	14,262,000	7,053	1,452	〃
昭和32年度	15,119,000	7,477	1,550	〃
昭和33年度	15,040,000	7,438	1,542	町税総額は2月末日現在の現年度分を計上する
昭和34年度	14,883,000	7,311	1,526	
備考	人口 9,753人	世帯 2,022世帯		

第4表 町有財産調(35.2.29現在)

種 別		数 量
行 政 財 產 物	土 地	1,274坪 35戸718歩
	山 林・原 野	1,019戸422歩
	雜 種 地	225戸601歩
	校 校・役 場 敷 地	5,385坪
	役 場 庁 舎	105坪
	保 育 園 舎(3棟)	215
	隔 離 病 舎(2棟)	50
	登 記 所 庁 舎(2棟)	47
	公 民 館	47
	警 察 庁 舎(2棟)	51
財 產 物	火 葬 場	27
	学 校 各 舎(15棟)	1,707
	町 営 住 宅(1種)	525
	町 営 住 宅(2種)	425
財 政 財 產	基 本 財 產 積 立 金	244,296
	千 葉 県 漁 業 信 用 基 金 協 会 出 資 証 券	150,000

第5表 町債現債額調(昭和35.3.31現在)(単位千円)

借入先別 目的別	資 金 運 用 部	簡 便 保 険 局	計	附 記
教 育 債	4,113	3,925	8,038	(1)30年度中学校建設債 4,112,942円 (2)32年度 " 3,925,240円
土 木 債	1,144	3,636	4,780	(1)30年度道路整備事業債 1,827,248円 (2)31年度 " 1,808,800円 (3)32年度新町建設事業債 1,144,479円
社会及労働 施設債	218	4,973	5,191	(1)28年度保育所建設債 218,017円 (2)30年度町営住宅建設債 1,184,562円 (3)31年度 " 1,317,230円 (4)32年度 " 971,356円 (5)33年度 " 1,500,000円
災害復旧債	1,164	0	1,164	(1)23年度中学校災害復旧債 78,498円 (2)27年度清水川災害復旧債 1,085,925円
産業経済債	5,978	1,611	7,589	(1)27年度漁港修築債 501,196円 (2)28年度 " 2,579,777円 (3)29年度 " 1,896,766円 (4)30年度 " 639,537円 (5)32年度 " 971,356円 (6)33年度 " 1,000,000円
合 計	12,617	14,145	26,762	

2月末日現在一時借入金は7,800,000円でこの内訳は起債前借の5,800,000円(大蔵省400万円郵政省180万円)と恩給組合からの借入金200万円であり、起債前借については5月31日までに長起債に切替の手続を完了する予定であり、借入金についても同日までに返済の予定である。

第6表 昭和34年度計画事業

区分 事業名	事業費	財 源 内 訳			事 業 内 容
		国 県 支 出 金	そ の 他 特 定 財 源	一般財源	
1、補助事業	29,555,000	12,823,000	11,344,000	5,388,000	
(1) 岩和田小学校改築事業	8,548,000	2,142,000	5,000,000	1,406,000	鉄筋ブロック造二階建 延 272坪
(2) 町営住宅建設事業	7,586,000	4,357,000	1,800,000	1,429,000	第1種住宅(1戸10.5坪)10戸建設 第2種住宅(1戸8.5坪)10戸建設
(3) 御宿漁港修築事業	5,700,000	3,420,000	1,140,000	1,140,000	防波堤延長
(4) 岩和田漁港局部改良事業	4,516,000	2,100,000	1,700,000	716,000	港内堀削除
(5) 岩和田漁港整備事業	1,500,000	300,000	1,200,000	0	防波堤嵩上
(6) 実谷林道開設事業	630,000	153,000	230,000	247,000	林道開設 延長 600m
(7) 岩瀧林道開設事業	375,000	101,000	274,000	0	林道開設 延長 326m
(8) 広報車購入事業	700,000	250,000	0	450,000	消防本部指揮兼町公報車購入
2、災害復旧事業	3,332,000	2,276,000	529,000	527,000	
(1) 御宿漁港災害復旧事業	558,000	399,000	80,000	79,000	防波堤工事
(2) 岩和田漁港災害復旧事業	1,518,000	1,087,000	216,000	215,000	港内堀削除
(3) 岩和田漁港災害関連事業	1,256,000	790,000	233,000	233,000	防波堤嵩上
3、単独事業	3,700,000	0	1,000,000	2,700,000	
(1) 貯水池設置事業	200,000	0	0	200,000	実谷、館山、新久井、新宿計6ヶ所設置
(2) 地曳橋架替事業	3,200,000	0	1,000,000	2,200,000	木橋を鉄筋コンクリート橋に架替
(3) 消防団本部詰所建設事業	300,000	0	0	300,000	鉄筋ブロック造二階建 延15坪
合 計	36,587,000	15,099,000	12,873,000	8,615,000	

満七十才になられますと老令年金を受けることが出来ますので請求して下さい。

年金を受けておられる方が不幸にして死亡したときは失権になりますので年金証書は徹らす御提出願います。

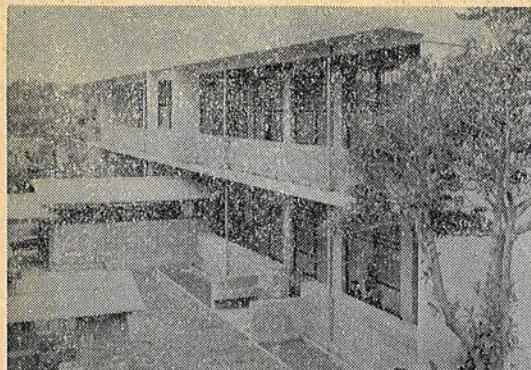
今度母子年金親子生計維持関係規則が相当ゆるやかになり範囲が広められましたので、今まで受けられない方で疑問のある方は厚生課にお出の上御相談下さい。

尚母子年金受給の方で、本年中学校卒業のお子さんをお持ちの方は失権又は改定をされますので証書は役場厚生課にお届け下さい。

福社年金の支払が三月三日から郵便局窓口で始められた。

町の該当者は、老令年金四〇九人、障害年金三十一人、母子年金三十四人すでに全員が第一回の年金を受領しました。

□□ 福祉年金 □□



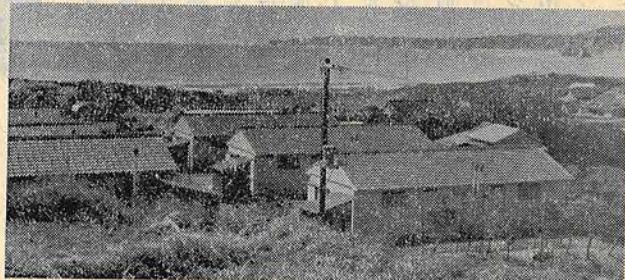
### 岩小鉄筋で完成

新学期を目標に完成を急いでいた岩和田小学校が鉄筋コンクリート二階建でみごとに出た。写真左) 階下四教室、階上四教室で、校内放送施設(岩和田漁業会寄贈)十七インチテレビ(岩和田区寄贈)も備えられ、近代的設備をほこつている。

### 町営住宅も

六軒町浦伸に建築中の町営住宅二十戸(簡易耐火性構造平家建)が完成、すでに入居も終った。

どちらのように(写真右)松の緑をとおして海もみえる、よい所です。



### 町内短信

- 3月2日 町営住宅竣工検査
- " 3日 4Hクラブ会議 於 役場
- " 8日 町営住宅入居者決る
- " 9日 国保運営協議会
- " 11日 布施学校組合協議会開く
- " 12日 町議会開催、昭和35年度予算決る
- " 15日 世界農林業センサス審査会
- " 18日 区長会議
- " 20日 御宿中学校卒業式
- " 21日 布施小学校卒業式
- " 22日 バス運営委員会
- " " 特設人権相談を公民館にて開く
- " " 岩和田小学校卒業式
- " 23日 御宿小学校卒業式
- " 24日 御宿保育園卒園式
- " 25日 岩和田保育園卒園式
- " 27日 消防分団長、部長会議
- " 28日 岩和田小学校落成式
- " 31日 合併5周年記念日
- " " 農家組合長会議
- 4月1日 新年度始まる
- " " 岩和田小学校入学式
- " " 布施小学校入学式
- " 2日 御宿小学校入学式
- " " 御宿中学校入学式
- " 3日 青年クラブ役員会
- " 4日 御宿保育園入園式
- " 5日 岩和田保育園入園式
- " 7日 夷隅郡選舉管理委員会 於 役場
- " 11日 町議会全員協議会
- " " 例月出納検査
- " " 地曳橋起工式

住いは洋式、料理は中国、妻は日本娘。これが世界の男性の理想だそうである。

ともかく中国料理はうまい。その中国の古い料理の本に「色を食べよ」とある。にんじんの赤、なつばの緑、だいこんの白、大豆の黄、ゴマの黒などの料理の材料の色合いは人体の内ぞうの色合いに適合しているといわれる。これを一色にかたよらず数多くの色をとれば、人体内ぞうを補強し、健康を保持できるばかりでなく、料理そのものもおいしくなる。

これは現代の栄養科学にも合致する。すなわち赤の食品は血や肉を作る。黄の食品は働く力を作る。緑の食品は身体の調子をととのえるというのが現代栄養学である。

魚などたん白質をあとはパン、めん類、炭水化物を意味し、シ草、小松な、みかちようど機械の潤この三つの色の食品理されたものが、ほるわけである。

赤い食品とは肉、らわし、黄色い食品砂糖マーガリンなど緑の食品とはホーレンなどのくだもので滑油の役目をする。を適度に調和し、料んとうの栄養食になたとえば発育途上の

こどもには、とくに赤を多くとるとか、六十才以上の老人には赤を少く緑を多くするとか、働く人には黄色を多くとか、またはそういう意味のほかに料理の色をうつくしくもり合わせ、目をたのしませることも健康上のたいせつなことであろう。

最近の食品には化学着色をしているが、ガンの原因になるとかいわれている。

### 色を食べよ



明るいニュース

学位祝い費を寄付

三〇) (東京医科歯科大学第一  
外科医局長) が十二月にそれぞ

新町の吉野歯科医さん方では長男の長康さん（三三）（群馬県利根中央診療所外科部長）が昨年六月に、次男の信行さん（

恒例の千葉県消防大会は、三月七日千葉県教育会館において開催された。この席上本町消防団は「火災予防と消防施設の改善充実に努め且つ訓練優秀にして他の模範である」と千葉県知事より功劳旗が授与された。

知事功失旗授与さる

又団長には永年に亘り消防に尽した功勞が認められ日本消防協会長より精績章が贈られた。

大会は、国家消防本部、日本消防協会、県議会より多數の来賓を迎え、各郡市より五百名の消防関係者が出席し、表彰式、意見発表、宣言、決議等が行われ、盛会のうちに大会を終了した。

実谷字切掛地先にりつばな農道が完成した。

中員二・一三米、延長五百米（内  
鉄筋コンクリート橋一、土管設  
置三ヶ所）で昨年十二月着工し  
本年二月に出来上つたもの。

この地先は田二町歩、山林三町  
歩があり、今迄道という道がな  
かつたため、農作業に非常な困  
難がともない、自然と荒地が多  
くなつていた。

これではいけないと部落の人達

八人で農道を作る

実谷字切掛地先にりづばな農道が完成した。  
巾員二・一三米、延長五百米（内  
鉄筋コンクリート橋一、土管設  
置三ヶ所）で昨年十二月着工し  
本年二月に出来上つたもの。  
この地先は田二町歩、山林三町  
歩があり、今迄道という道がな  
かつたため、農作業に非常な困  
難がともない、自然と荒地が多  
くなつてゐた。  
これではいけないと部落の人達  
が奮起し、わずか八人の少人数

とに一心に帰りたい。その美し  
いすくすくと育つ無垢な子供に  
無理にその純白を破壊し、部落  
根生を植えつけるようなことは  
大いに考えなければならない。  
せめて風雨のときだけでも乗車  
権利のない遠い子供たちに乗車  
券をあたえたならば、どんなに  
よろこぶことでしよう。日の当  
る校庭を希み、良識ある町民に  
お願いし、敢て為政者の奔流を  
促したい。

とにかく、心に帰りたい。その美しさはすくすくと育つ無垢な子供に無理にその純白を破壊し、部落根生を植えつけるようなことは大いに考えなければならない。  
せめて風雨のときだけでも乗車権利のない遠い子供たちに乗車券をあたえたならば、どんなによろこぶことでしょう。日の当る校庭を好み、良識ある町民にお願いし、敢て為政者の奔流を促したい。

雨は降って、B君よりち構えて、団となれど、残されなき君、C君をお迎えた。おは無情に、蹴つて、國をさて、國たちはこうか。い空いへつたで、和な課程

「サヨウナラ」とA君は待つて、いたスクールバスに一  
つて欣喜と飛込む。  
たのは乗車券のないB  
君だ。一刻も早く父兄の  
を待つて、かのバス  
にもエンデン軽く校門を  
ハイ、サヨウナラ。――  
風雨の中に残された子供  
このとき何を考えたであ  
憎悪、孤独、鬱憤が黒  
づぱいに雷火となつて走  
めらう。折角その日の平  
桂がすみ、教育を身にう

せ下さった石田さんに謝意を表すると共に当局としての考え方をお答えし、町民皆さんの御協力ををお願いしたいと存じます。私共自治行政を担当するものとして常に念じていることは、町民福祉の向上であり、楽しい町づくりであります。

この目的を達成するため、合併以来新町の一本化推進を図りながら、財政やその他凡ゆる困難な事情を克服しつつ種々な施策を行つて、幾分なりとも皆さんのサービス向上に役立つてゐるものと信じます。

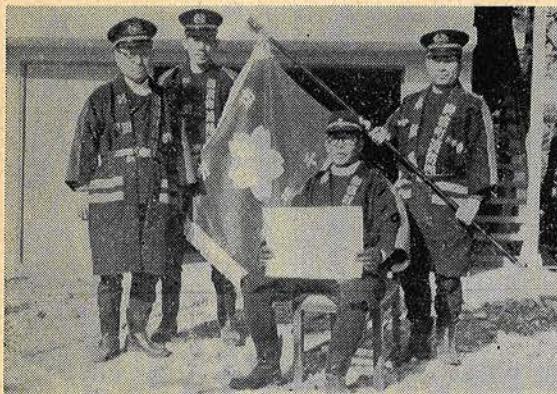
合併当時の色々な事情を全く無視して次のことを述べることは出来ませんので御了承頂きました

さてバスの運営問題ですが、合併による新町の発展は先づ町の一体化が必要なことは申す迄もありません。この線に沿つて中学校の統合、布施支所の廃止等も計画し既に実行して参りましたが、御承知のように旧布施地域は分村による合併であり、中学校統合については色々と紛糾を重ねて漸く最近に至り解決する運びとなりましたが、過渡期とも申しましようか、一応統合中学校を円滑に運営しようと念じ、色々の意見もありましたのが、議会と協議を重ねバスを運営することになりました。

本月の広報に「スクールバスについて」貴重な御意見をお寄

お  
答  
え

現実旗と表彰状を手にするのが中村団長





## 交通事故は新記録

――注意はおこたりなく――

車の増加と共に交通事故も年々増加し、警察ではその対策に頭をなやましている。

事故の原因（大原警察署管内）は、運転者において、前方注視違反（脇見運転）、無免許運転、徐行違反（スピードの出し過ぎ）一時停止違反、その他安全運転違反、めいてい運転等が多く、歩行者は車の直前横断が圧倒的に多い。交通事故を起さ

ないよう、被害を受けないよう、そして道路を無断使用して交通事故の原因を作らないよう

にお互いに心がけていただき

梅咲くと雀が庭に来て遊ぶ  
渚のみ白く泡立ち春浅し  
蝶生れ燈台道の風に吹かれ

伊藤よしを

岩瀬京子

原田光子

吉野鶴女

土井久恵

山田木念人

佐々まさ

浅野松山

吉野鶴女

土井久恵</p